

第 5 回デマンド運行検討会の概要

【日 時】 平成 21 年 12 月 14 日 (月) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

【場 所】 可児市総合会館 4 階会議室

【出席者】 出席委員 19 人、欠席委員 3 人、事務局 3 人

【議事】

報告事項

- ・「電話で予約バス」の利用状況
- ・アンケート及びヒヤリング調査結果について
- ・運行事業者の運行状況に関するヒアリング結果

検討事項

- ・電話で予約バスの評価
- ・さつきバスの川合土田線の沿線の運行形態について
- ・運行内容について

【検討結果】

下記事項を可児市地域公共交通協議会に提案する。

- ・川合土田線の沿線の運行形態は、従来の川合土田線を廃止し、平成 22 年 4 月からデマンド運行方式（電話で予約バス）とする。
- ・「電話で予約バス」について、自治会未加入者を含む沿線住民・沿線施設利用者への周知を図る。
- ・「電話で予約バス」の予約は FAX による申込みを可能とする。
- ・「電話で予約バス」の運行日は月曜日から土曜日とし、運賃は 200 円を希望する。停留所の配置や運行後の必要な見直しについては、地域住民や「電話で予約バス」の利用者の協議の場を設けて検討する。

【主な意見】

電話で予約バス」の評価

【発言者】 委員 事務局

評価は利用者の立場で行われるべきである。

検討会としての評価が必要である。

運賃が従来の 200 円から 300 円に値上げしたから従来の川合土田線の評価が高いのではなく、収支率や利用者意向を踏まえて 300 円の妥当性を評価するべきである。

「電話で予約バス」はサービスが上がった面もあれば、運賃や予約などサービスが下がった面もある。総合的な評価が必要である。

利用者アンケートの満足度で評価し、検討会で検討していただくための評価の案を提示している。

事務局としては「電話で予約バス」を妥当と考えているか。

アンケート結果から必要な改善をすることで利用に繋がる可能性があることを確認した。PRが不足している。今後は自治会の会報等でPRしたいと思う。自治会未加入世帯に対するPRも必要である。

アンケートの実施時期が早い。運行開始から1か月の時点では周知が行き届いていないと思われる。

川合・土田線の沿線の運行形態について

予約の要らない定時定路線運行が良いと思う。

地域住民としては「電話で予約バス」の運行を望んでいる。

地元では「電話で予約バス」で便利になったという声を聞く。

現在の「電話で予約バス」を基に、より良いものとするための改善が必要である。

運行内容について

利用者が減っている原因を追求する必要がある。

アンケートでは運賃、運行曜日、バス停の場所の改善要望が出されている。

地域住民や利用者の意向を踏まえることが重要と考える。アンケートやヒアリングではいくつかの改善点も出されているため、今後デマンド運行を継続するに当たっては、これら改善点を踏まえた検討が必要である。運賃と予約に問題がある。

運賃は、収支率や他の交通機関との関係もあると思うが、この検討会では200円を希望する。

運行事業者としては、今回は実験ということで事業採算よりも地域貢献を優先して運行している。本格運行となった場合の運賃は再度調整が必要と思う。

運行曜日を月曜日から土曜日に変更することは良い。

中型タクシーは居住空間が狭い。ジャンボタクシーが良い。できれば環境に配慮したハイブリット式のジャンボタクシーであれば、乗り心地も改善されるのではないかと。

現時点の利用人数であればセダン型のタクシーが良いと考える。

利用者の声を大事に考えるべきである。実際に利用したときの対応は良かった。一緒に乗り合わせた他の利用者からは、さつきバスは所要時間が長く使い勝手が悪かったが、「電話で予約バス」は乗りたい区間が最短経路で運行されるため、乗車時間が短くとても評判がいいと聞いた。当初は、見知らぬ人と乗車する懸念はあったが、車内で話をすることもでき、普段とは違うコミュニケーションができてよかった。

「電話で予約バス」は地域内だけの利用ではなく、地域外からの利用者に対しても考慮する必要があると思う。

「電話で予約バス」の改善については、(仮称)地区運行協議会を立ち上げ、地域住民の皆さんと検討、協議して進めたいと考えている。